

Peg-Pérego

# PRIMO VIAGGIO SL

## 取扱説明書

## 保証書

ベビーシート / チャイルドシート  
ペグ・ペレゴ プリモ ビアッジョ SL



適応体重：13kg以下  
年齢の目安：1歳半頃まで  
適合基準：ECE R44/04 G0+



注意 一人座りできるようになったら、ロッキングチェアとしての使用はしないでください。

# 目次

ユーザー登録のお願い	3	キャリングハンドルの使いかた	25
チャイルドシートについて	4	肩ベルトの調節のしかた	26
自動車との適合について	4	インナーパッドの使いかた	28
表記の説明	5	お子さまの乗せかた	29
本取扱説明書で使用するイラストについて	5	チャイルドシートとして使用する	33
その他の表記について	5	自動車座席への取り付けかた	33
本製品の特長	5	ベビーキャリーとして使用する	38
使用可能なお子さまの範囲	6	ベビーチェア・ロッキングチェアとして使用する	41
取り付け、使用できない座席	6	お手入れのしかた	42
取り付け可能な座席位置	9	キャノピーの取り付け、取り外し	42
シートベルトの種類について	9	シートのカバーの取り外し	44
最初に内容物をご確認ください	11	シートのカバーの取り付け	49
各部の名称	12	縫製品のお手入れのしかた	53
自動車に関する部位、部品の名称	13	本体、ベルト類のお手入れのしかた	54
使用上の注意	14	保管のしかた	55
緊急時の操作について	21	廃棄のしかた	55
自動車の座席について	21	保証書	
取扱説明書ホルダー	22		
基本機能の説明	23		
バックルの使いかた	23		
キャノピーの使いかた	24		



## 必ずお読みください

本製品は、自動車の座席に取り付けてチャイルドシートとしてご使用いただくことができます。

本製品は、欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおぼすおそれがあります。

チャイルドシートとしての使用に限らず、安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。

本取扱説明書は、本製品の所定の場所に格納して大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

## ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力ををお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたします。

お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

## チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすことがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

## 自動車との適合について

本製品は、自動車の座席の3点式シートベルトによって自動車の座席に固定して使用します。

ただし、3点式シートベルトが装備された座席でも、条件によっては使用できない場合があります。

または、本製品が対応するベースシートを自動車の座席に取り付け、ベースシートに本製品を取り付けて使用することもできます。

本製品が取り付けられる自動車の座席（または、本製品が対応するベースシートが取り付けられる座席）に関しては、以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくなお、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しております。

**<http://www.katoji.co.jp/>**

## 表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しております。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。



この表示に付隨して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。



この表示に付隨して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。



この表示に付隨して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。



この表示に付隨して記載されている事柄は正しい状態にあることを示します。



この印に付隨して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されている状態にあることを示します。

## 本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

## その他の表記について

### POINT

「POINT」と表記された枠に記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利に使用していただくための大切な情報です。

## 本製品の特長

本製品は、チャイルドシートとして使用できるほか、お子さまを乗せたまま持ち運びができるベビーキャリー、チェア、ロッキングチェアとしてもご使用いただけます。

また、本製品が対応したベースシートを自動車の座席に取り付けた場合には、取り付け、取り外しが簡単なチャイルドシートとして使用していただくこともできます。

## 使用可能なお子さまの範囲

本製品は、次の範囲にあてはまるお子さまにご使用いただけます。本製品の使用可能な範囲は、ECE R44/04 グループ 0+ の規定である、お子さまの体重を基準に使用範囲を定めています。

### 使用可能なお子さまの範囲： 体重 13kg まで

目安として、新生児から 1 歳半頃までご使用いただけます。年齢は目安ですので、1 歳半未満でも体重が 13kg を超えたら本製品を使用することはできません。

**妊娠 37 週未満で出生されたお子さまの場合、呼吸の問題を引き起こす可能性がありますので、本製品を使用する前に、医師の診察を受けるようにしてください。**

この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

この範囲は、チャイルドシートだけではなく、ベビーキャリー、チェア、としてご使用いただく場合も同様です。

ただし、ロッキングチェアとして使用する場合は、以下の範囲です。

### ロッキングチェアでの使用

**使用できる期間：新生児～一人座りできるまで（7 カ月頃）**

**⚠ 警告** 年齢が使用できる年齢の目安の範囲であっても、お子さまの体重が 13kg を超えたら本製品を使用してはいけません。

## 取り付け、使用できない座席

本製品は、ECE R16 またはそれに準じた基準に適合する自動車の座席の 3 点式シートベルトによって、自動車の進行方向に対して前向きの座席に、後ろ向きに取り付け、固定します。ただし、3 点式シートベルトが装備された座席でも、条件によっては使用できない場合がありますのでご注意ください。

また、本製品は、全ての自動車、全ての座席で使用できるものではありません。適合車種一覧を参照してください。

また、以下のホームページにおいても、適合車種一覧を掲載しており、適宜更新いたしておりますので、必要に応じてご参照ください。また、本製品は、本製品に対応したベースシートを自動車の座席に取り付けて使用することができます。この場合、ベースシートの取扱説明書および適合車種一覧を必ずご確認ください。

**<http://www.katoji.co.jp/>**



危険 以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

### 3点式シートベルト以外の座席

シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。

必ず、3点式シートベルトの付いた座席で使用してください。



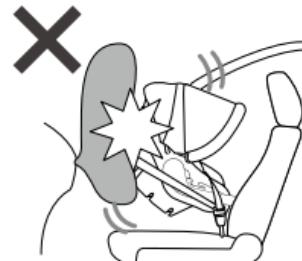
### 適合車種一覧で取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席

適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（適合車種でも、全ての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。

### フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、エアバッグが展開する際の急激な衝撃によって、本製品が押し出され、お子さまが死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

万が一の事態に備え、機能解除ができる座席でも、フロントエアバッグを装備した座席では使用しないでください。



### 助手席

運転に支障をおよぼすおそれもあります。本製品は、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

### パッシブシートベルトの装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトの座席では、本製品を使用できません。



以下に示す座席では絶対に使用しないでください。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

### 本製品を安定して設置できない座席

レーシング用のパケットシートなどの極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席では、本製品が安定しないため取り付けができません。

また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されているなどする場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともありますのでご注意ください。

### 乗員の脱出に影響を与える座席

2ドア車の助手席や、片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に、あらかじめ緊急時を想定して、取り付けようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から、他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。

### 本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。

### 進行方向に対して前向き以外の座席

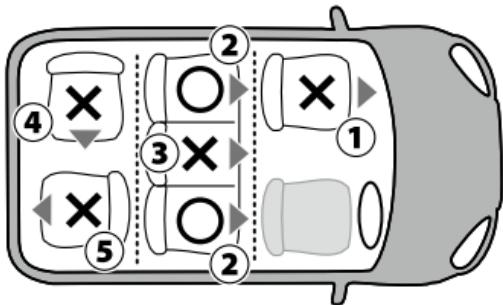
本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ、使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも使用できません。

### その他、取り付けられない座席

本製品は、中央座席ではご使用いただけません。また、座席の形状やサイズ、シートベルトの長さ、ベルトバックルの高さや前後の位置などが影響し、本取扱説明書にしたがっても、しっかりと固定できない、安定しない座席では使用できません。

## 取り付け可能な座席位置



### ①助手席

取り付け、使用してはいけません。

### ②2列目以降、左右ドア側座席

取り付け可能です。

### ③2列目以降、中央座席

取り付け、使用してはいけません。

### ④進行方向に向かって横向きの座席

取り付け、使用してはいけません。

### ⑤進行方向に向かって後ろ向きの座席

取り付け、使用してはいけません。

## シートベルトの種類について

本製品は、ECE R16に準拠した3点式シートベルトを装備した、進行方向に対して前向きの自動車の座席で使用するように設計されています。

3点式シートベルトでも、種類によっては、本製品が正しく取り付けられなかったり、適切に使用できない可能性があります。次の表の説明を参考にして、使用しようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている3点式シートベルトの種類を確認してください。



上図に関わらず、適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（適合車種でも、全ての座席で取り付け、使用可能とは限りません）では使用できません。

シートベルトの種類	機能・特徴	取付可否	注意点
<b>ALR</b> 自動ロック式 ベルト巻取り装置	シートベルトを引き出して途中で止めるとその位置で固定され、戻す方向にしか動かなくなる（それ以上引き出せなくなる）。最後まで戻しきると固定機能が解除される。	×	取り付けできません。
<b>ELR</b> 緊急ロック式 ベルト巻取り装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	○	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
<b>NR</b>	固定機能がなく、どの状態でもシートベルトの引き出し、戻しができる。	×	取り付けできません。
<b>AELR</b> チャイルドシート固定機構付 ベルト巻き取り装置	通常時は ELR として機能。シートベルトを最後まで引き出すと、チャイルドシート固定機構（ALR）に切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再び ELR に切り替わる。	○	シートベルトを最後まで引き出すと危険です。必ず、シートベルトを一度巻き戻してチャイルドシート固定機構（ALR）を解除して取り付けてください。
<b>その他</b>	パッシブシートベルト・2点式・5点式シートベルトなど。	×	取り付けできません。

**!  
危険** シートベルトの種類が適合していても、他の条件により、本製品を正しく取り付け、使用できない場合があります。取り付け、使用可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。適合車種一覧で、取り付け、使用不可、とされている車種、座席では、絶対に取り付け、使用しないでください。

**!  
ポイント** 中古車やディーラー限定モデルなど、特別仕様車の場合には、座席やシートベルトの種類が自動車の取扱説明書の内容と異なることがあります。確認できなかった場合には、自動車のメーカーや、自動車をお買い求めになったディーラーにお問い合わせください。

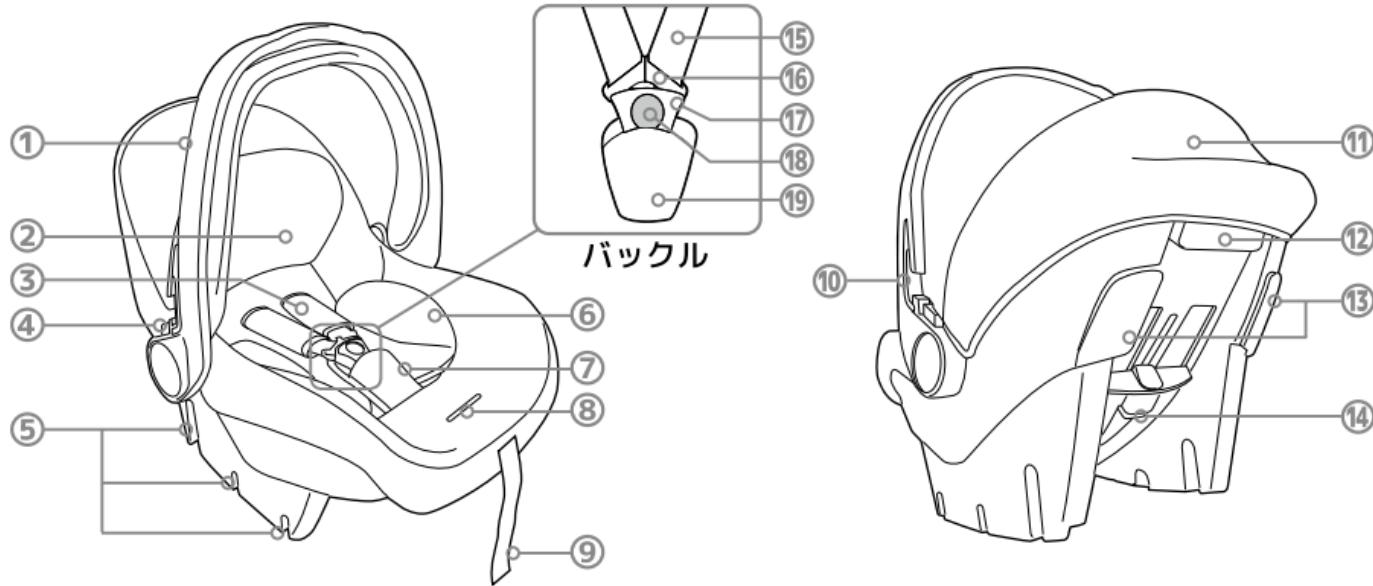
## 最初に内容物をご確認ください

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



**△注意** 本製品が入っていたビニール袋等の梱包材は、本製品開梱後、直ちにお子さまの手の届かない場所に廃棄してください。

## 各部の名称



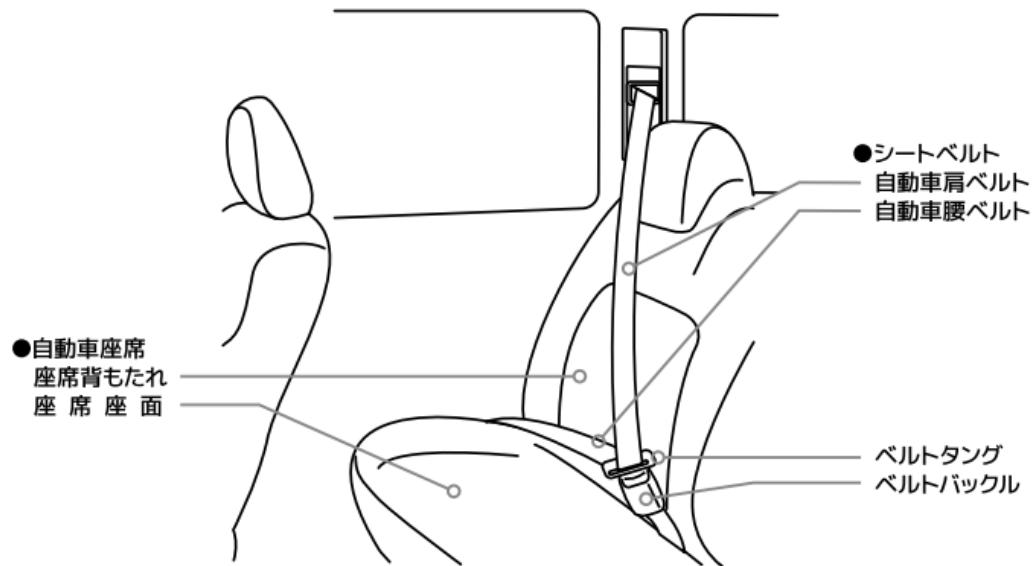
- ① キャリングハンドル
- ② ヘッドレスト
- ③ 肩ベルト（肩ベルト/パッド）
- ④ ハンドルボタン
- ⑤ コネクター
- ⑥ インナーパッド
- ⑦ 股ベルト（股ベルトカバー）

- ⑧ ベルトアジャストレバー（穴の内側にあります）
- ⑨ アジャスター/ベルト
- ⑩ 自動車腰ベルト/パス
- ⑪ キャノピー
- ⑫ リリースレバー
- ⑬ 自動車肩ベルト/パス
- ⑭ アジャストレバー

- バックル
- ⑮ 肩ベルト
- ⑯ 差込タング
- ⑰ 受けバックル
- ⑱ バックルボタン
- ⑲ 股ベルト（股ベルトカバー）

## 自動車に関する部位、部品の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。特に、シートベルトやバックルなど、自動車と本製品で同様名称の部位、部品がありますので、これらを区別するため、本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



# 使用上の注意

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しております。

## ⚠️ 危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### 正しく自動車座席に固定して使用すること

本製品は、本取扱説明書および本製品本体に記載されている指示に従って、正しく自動車座席に固定してください。

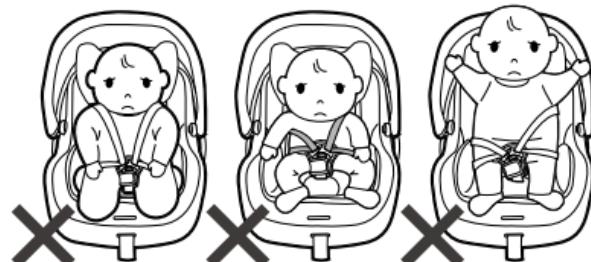
正しく固定されていないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず大変に危険です。

### 使用条件を厳守すること

本製品は、欧州のチャイルドシート基準 (ECE R44/04) に適合するチャイルドシートです。この基準により、使用できる条件と使用方法（後ろ向き取り付け）が、定められています。P6 の「使用可能なお子さまの範囲」の条件に満たない、または超えたお子さまは、本製品を使用してはいけません。

### お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、正しくお子さまを固定してください。規定された体重に適さないお子さまに使用したり、肩ベルト、シートベルトを間違って使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。





危険 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

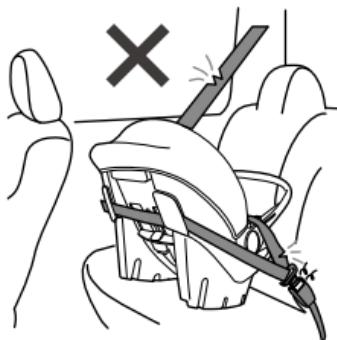
### 体型が合わなくなったら使用しないこと

体重が 13kg に満たなくても、お子さまが成長し、本製品に正しくお子さまを乗せた際に、頭頂部が本製品から上にはみ出してしまう場合、お子さまの足が本体から極端にはみ出してしまうようになった場合には、お子さまを正しく固定できず、お子さまが窮屈なばかりでなく、衝撃を受けた際に、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。



### 損傷したシートベルトでの取り付け、使用をしないこと

損傷しているシートベルト（ベルトタンク、ベルトバックルの損傷を含む）で本製品を取り付け、使用してはいけません。交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したりベルトバックルが外れたりして、本製品が座席から外れ、お子さまや他の同乗者が死亡または重傷を負うおそれがあります。



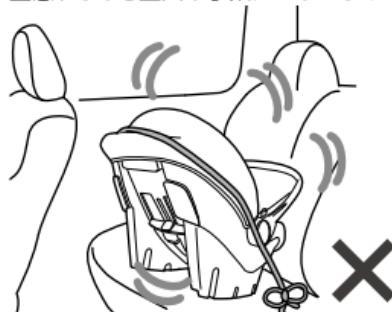
### 指定する方法以外での取り付けをしないこと

本製品は、適合する車種、座席の 3 点式シートベルトで取り付け、または、本製品に対応したベースシートに取り付けて使用します。

本書、また本体の表示に従い、正しく取り付けてください。

また、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなど、シートベルト以外のもので本製品を固定してはいけません。シートベルトで固定した上に、これらのもので補強してもいけません。

3 点式シートベルトまたは ISO-FIX ベースによって本製品が自動車座席に正しく固定されていたとしても、これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかり窒息するなど重大な事故につながるおそれがあります。



### 走行前には本製品の状態を確認すること

走行前には、本製品が正しく自動車の座席に取り付けられているかどうか、必ず確認してください。お子さまや、他の乗員などが、本製品に触れたり、固定している自動車のシートベルトや他の部品に触れたりして、本製品の取り付けがゆるんでしまっている可能性もあります。

## ⚠️警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

### 強い衝撃を受けた本製品／損傷した本製品は使用しないこと

落下、車のドアで強くはさむ、交通事故にあったなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は使用してはいけません。目には見えない損傷によっても、本製品が安全に機能しない可能性があります。



### お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、本製品から抜け出ようとして、肩ベルトに絡まり窒息したり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



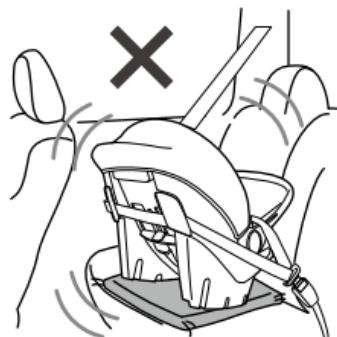
### 車内では本製品を必ず座席に固定しておくこと

お子さまが使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本製品を自動車の座席に固定してください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、他の同乗者にあたるなどして、死亡または重傷を負うおそれがあります。



### 本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

座布団やクッションなどの敷物を置いた自動車の座席の上に本製品を取り付けてはいけません。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品を正しく取り付けた際に、自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性がありますが、あらかじめご了承ください。



## ⚠️警告 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

### 走行中に本製品を操作しないこと

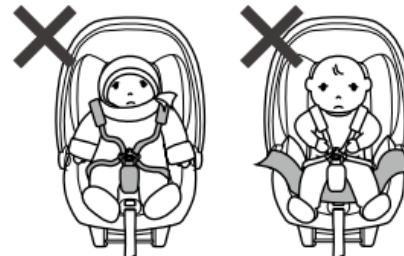
自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。お子さまの乗せ降ろしはもちろん、取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中に操作してはいけません。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



### 不適切な着衣では使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが本製品から落下したり、飛び出したりするおそれがありますので、厚みのあるダウンジャケットなどの厚着や、ケープ、毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣で本製品を使用しないでください。

また、毛布や座布団などの敷物を本製品の座席に敷かないでください。



### 適宜、お子さまの状態を確認すること

本製品の使用中、月齢の低いお子さまにご使用いただいている場合は特に、適宜、安全な場所に自動車を停めてお子さまの状態を確認するようにしてください。

### 大人が操作、取り付け、調節すること

本製品をお子さまに操作、取り付け、調節させないでください。

### 本製品の部品を取り外して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外して使用しないでください。シートカバーや、ウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に、本体に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

**⚠️ 警告** 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

**本製品の分解、改造をしないこと、および指定外部品を使用しないこと**

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品の分解、改造をしないでください。また指定外部品への交換、本製品に同梱されていないアクセサリや部品を本製品に取り付けて使用しないでください。



**ベルト類がゆるんだ状態で使用しないこと**

自動車のシートベルト、本製品の肩ベルトが緩んだ状態で使用してはいけません。交通事故や急制動の際にお子さまに過剰な衝撃が加わったり、お子さまが本製品から飛び出したり、本製品が自動車座席から外れるおそれがあります。また、これらのシートベルトがゆるんでいると、お子さまの首に絡むなどして、重大な事故につながるおそれがあります。ベルト類は、本取扱説明書の指示に従い、正しくお使いください。

**本製品に過度の負担を掛けないこと**

本製品に損傷を与えるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品が損傷した場合、本製品を使用してはいけません。また、過度の負担が掛かると、本製品の取り付けがゆるんでしまう可能性もあります。



**本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作、座席の移動をした場合には状態を確認すること**

本製品を、3点式シートベルトで取り付けた後に、取り付けた自動車の座席のリクライニング操作、また、座席の位置を前後に移動させる操作をすると、取り付けがゆるむ可能性があります。これらの操作をした後には、必ず取り付け状態を確認してください。

## **⚠️警告** 以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

### **不適切な保管をしないこと**

部品の劣化が早まったり、正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のある場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。

### **ベースシートには確実に取り付けて使用すること**

本製品は、本製品に対応するベースシートを自動車の座席に取り付けた上で、そのベースシートに本製品を取り付けて使用することができます。本製品が脱落し、重大な事故につながるおそれがありますので、本取扱説明書およびベースシートの取扱説明書の指示に従い、正しく、確実に取り付けて使用してください。

また、本製品は、当社が指定するベースシート以外には取り付けることができません。無理に取り付けようとすると、本製品が破損し、本製品が使用中に脱落するおそれがあります。

### **目的外で本製品を使用しないこと**

本製品は、チャイルドシート、ベビーキャリー、チア、ロッキングチアとして使用することができます。重大な事故につながるおそれがありますので、それ以外の目的で使用してはいけません。

### **本製品を持ってベースシートを持ち上げないこと**

本製品をベースシートに取り付けて使用する場合、キャリングハンドルを含め、本製品だけを持って全体を持ち上げてはいけません。持ち上げる必要があるときは、ベースシートの安定の良い部分を持って持ち上げるようにしてください。

### **キャリングハンドルの状態を確認してから本製品を持ち上げること**

キャリングハンドルが、正しく固定されていない状態で、キャリングハンドルを持って本製品を持ち上げると、本製品が思わぬ動きをして、本製品が落下したり、お子さまが落下したりするおそれがあります。必ず、キャリングハンドルをキャリングポジションで確実に固定してから本製品を持ち上げるようにしてください。

### **お子さまの手足が挟まれないようにすること**

重大な事故につながるおそれがありますので、本製品をベースシートに取り付ける際には、お子さまの手足に注意し、本製品とベースシートや自動車の座席の間に挟まないようにしてください。

### **中古品や劣化した本製品を使用しないこと**

本製品の中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため、使用してはいけません。また、部品の経年劣化の影響などにより、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、製造日から7年を経過した本製品は使用しないでください。

**⚠ 注意** 以下に記載されている事項を守らないと、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえる可能性があります。

#### 部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。

野外に駐車する際には、本製品に覆いをするなどして加熱を防ぐようにしてください。

#### 車内の動くものは固定しておくこと

交通事故や急制動の際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある移動する物品は適切に固定するようにしてください。

#### 適切にお手入れすること

本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、バックルや、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。

#### 機構部分に指を差し入れないこと

ケガをする恐れがありますので、本製品の稼働部分、機構部分に不注意に指を入れないでください。

#### 長時間連続して使用しないこと

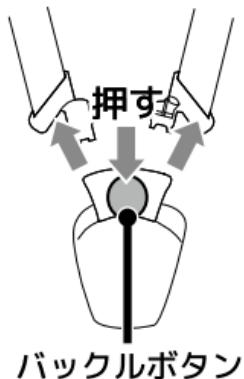
本製品をベッドとして使用しないでください。また、お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

特に、チャイルドシートとして本製品を使用する場合、運転の安全のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

## 緊急時の操作について

交通事故など、緊急時には、あわてず、本製品のバックルボタンを押し下げて、肩ベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。この際に、肩ベルトや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。

バックルボタンが機能しない場合は、本製品を固定している自動車のシートベルトを外して本体ごと自動車外に脱出させるか、または、市販のシートベルトカッターなどを使用して肩ベルトを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。



## 自動車の座席について

本製品は、お子さまを保護するため、自動車の座席に強く取り付けられる必要があり、これにより自動車の座席にへこみや痕、表皮に傷が付く場合があります。本製品を正しくご使用いただいた結果、自動車の座席にこれらの損傷が生じる可能性があることをあらかじめご了承ください。

当社は、この損傷に関しての損害賠償の責を負わないものとさせていただきます。

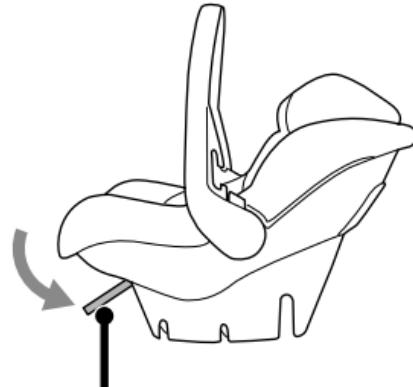


警告

本製品が正しく固定できず、衝撃により本製品が滑るなどして重大な事故につながるおそれがありますので、自動車の座席の保護を目的に、本製品の下に座布団やクッションなどを敷かないでください。

## 取扱説明書ホルダー

本書は、必要な時にいつでも参照できるよう、本製品の取扱説明書ホルダーに常に保管しておいてください。  
取扱説明書ホルダーは、本製品の先端部の裏側にあります。



## 基本機能の説明

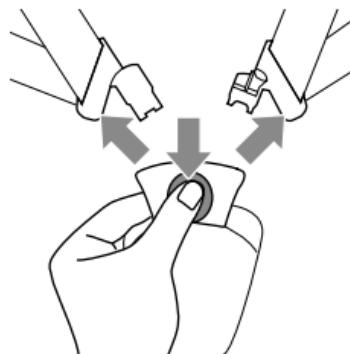
より、安全で快適にお使いいただくためには、お子さまの体形に応じて、各部を調整する必要があります。

実際にお使いになる前に、本製品の使いかたを一通り理解し、正しく調節し、取り付けて使用してください。

### バックルの使いかた

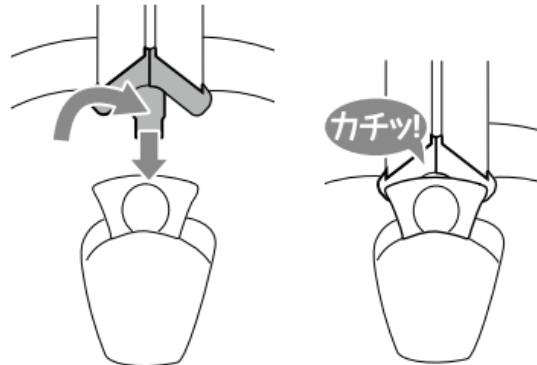
#### 01

バックルを外すには、バックルボタンを押し下げます。



#### 02

バックルを留めるには、正面から見て左側の差込タングを右側の差込タングの上に重ね、受けバックルに「カチッ」と音がするまで差し込んで留めます。



バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

#### 危険

正しく差込タングを受けバックルに差してもカチッ!と音がしない、バックルリリースボタンが動かないなど、バックルに異常を発見した場合はただちに本製品の使用を中止してください。

受けバックルの内部にゴミなどが入らないよう、お子さまを乗せていないときも、バックルを留めておくようにしてください。

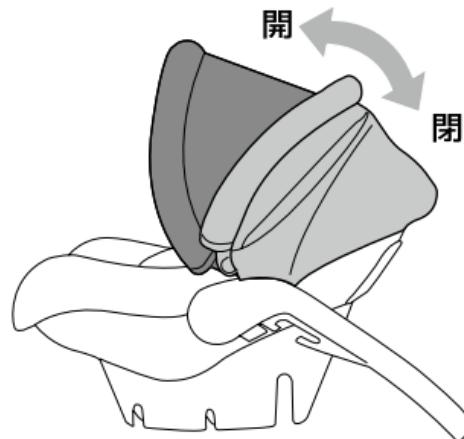
## キャノピーの使いかた

### 01

キャノピーは、お子さまに日差しが直接あたらないようにするために使用します。

### 02

キャノピーは、前後に動かせます。お子さまの様子や日光の状態に応じて、調整して使用します。



#### ？ポイント

キャノピーは、お子さまが快適に過ごせるよう大きめにつけられています。このためキャノピーを開閉する際に、キャリングハンドルにキャノピーが干渉することがありますので、ゆっくりと開閉操作をしてください。

### 03

キャノピーは、取り外すことができます。取り外しかたは、P42「キャノピーの取り付け、取り外し」を参照してください。

参照 P42 お手入れのしかた > キャノピーの取り付け、取り外し

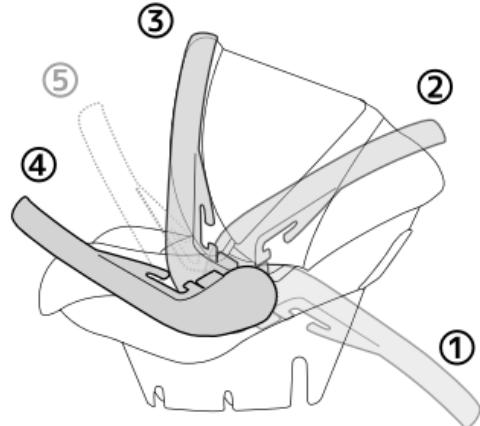


キャノピーを持って、本製品を持ち上げようとしないでください。本体が脱落し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

# キャリングハンドルの使いかた

## 01

キャリングハンドルは4つのポジションで使用することができます。



### ① チェアポジション

ベビーチェアとして使用する場合のポジション

### ② ロッキングポジション

ロッキングチェアとして使用する場合のポジション

### ③ キャリングポジション

ベビーキャリーとして使用する場合のポジション

### ④ チャイルドシートポジション

チャイルドシートとして使用する場合のポジション

### ⑤ 使用しないポジション

このポジションは使用しません

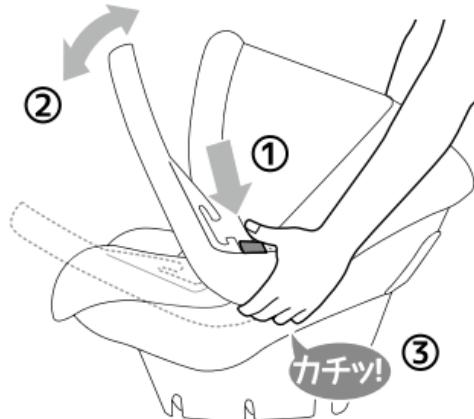
## ⚠ 注意

チャイルドシートとして使用する場合は、必ずチャイルドシートポジション（前図④のポジション）にすること

キャリングハンドルが、チャイルドシートポジション（前図④）以外の位置にあると、自動車の座席に正しく固定できません。

## 02

キャリングハンドルの左右の根元にある、①ハンドルボタンを左右両方同時に押しながら、②ハンドルを動かし、目的のポジション（4つのポジションのいずれか）まで動かすと、③カチッと音がしてキャリングハンドルが固定されます。



## 💡 ポイント

目的のポジション以外で固定されてしまった場合、もう一度ハンドルボタンを押して作業をやり直してください。

## 肩ベルトの調節のしかた

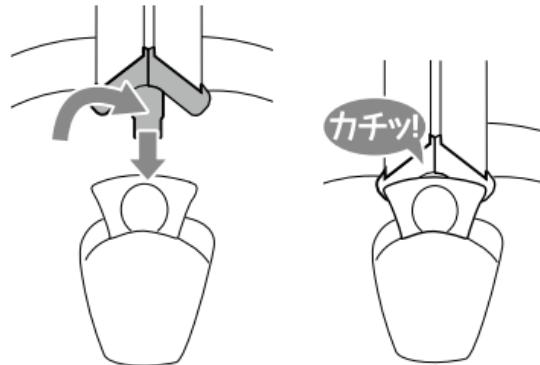


肩ベルトが適切に調整されていないと、お子さまが本製品から落下したり、過度の負担がかかったりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

### 長さの調節

#### 01

あらかじめ、バックルを留めておきます。

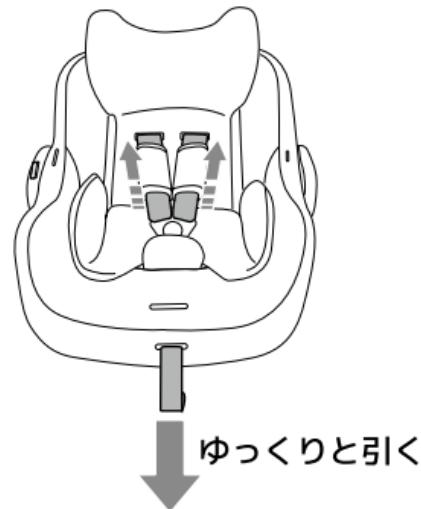


バックルが外れた状態でも長さの調節はできますが、この場合、調節中に肩ベルトパッドが肩ベルトから抜けてしまう可能性があります。抜けた場合は、差し込み直してください。

#### 02

肩ベルトを短くする(締め付ける)場合は、アジャスターべルトをゆっくりと引きます。

大人の片手の掌が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

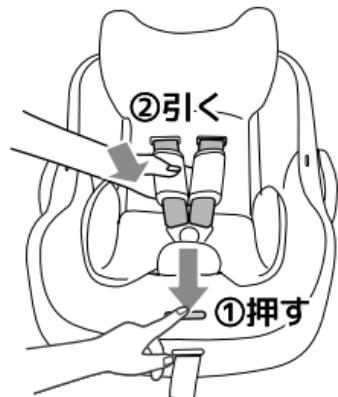


肩ベルトが強く締まり、お子さまを過度に圧迫するおそれがあります。アジャスターべルトを、勢いよく、また必要以上に引っ張らないでください。

## 03

肩ベルトを長くする（ゆるめる）場合、片方の手で①ベルトアジャストレバーを押しながら、②もう片方の手で、左右の肩ベルトを図のように束ねて持って引っ張り、肩ベルトを緩めます。

左右の肩ベルトが同じ長さになるように緩めてください。



※ベルトアジャストレバーは、外からは見えません。図の位置の切れ目に指を差し入れてください。

### △警告

締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまを正しく保護することができません。必ず、大人の片手の掌が差し込める程度に締めつけるようにしてください。

## 高さの調節

本製品では、ヘッドレストと連動して肩ベルトの高さ（位置）を調節します。お子さまの体形に合わせ、正しく調節してください。

参照 P31 基本機能の説明 > お子さまの乗せかた > 05

## 01

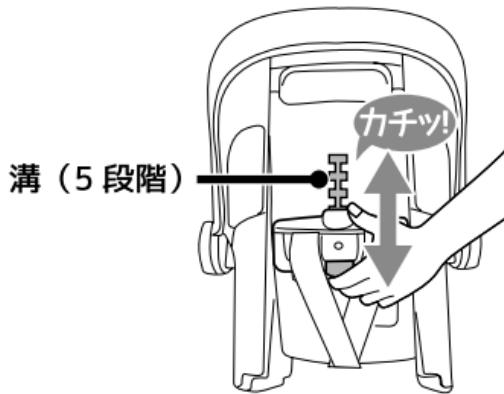
本製品背面のアジャストレバーにより、高さを調節します。



## 02

5段階で高さを調節することができます。

アジャストレバーを握り、ヘッドレストを上下に動かします。アジャストレバーから手を離し、適切な高さの溝で「カチッ」と音がしてヘッドレストが固定されるよう調節してください。



## 03

ヘッドレストを軽く上下に動かして、確実に固定されていることを確認してください。

## インナーパッドの使いかた

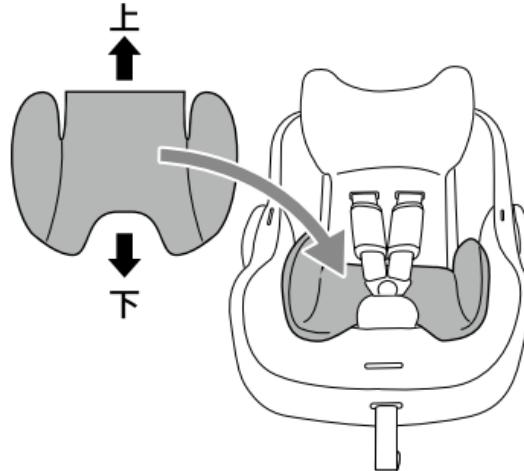
本製品には、お子さまの月齢が低い間、特に新生児期のお子さまの姿勢を正しく調整するためのインナーパッドが装備されています。



お子さまが成長し、窮屈になるまでは、インナーパッドを必ず取り付けて使用してください。

## 01

インナーパッドには、上下、表裏があります。  
間違えないように注意してください。



## 02

シートの座面の形状に合わせて、正しく置きます。



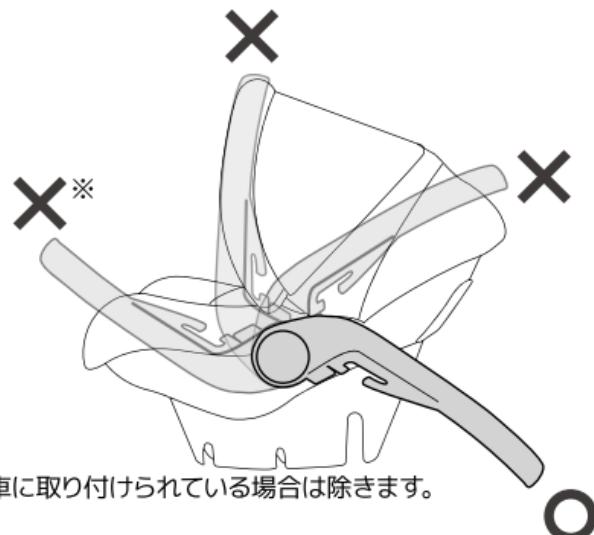
### △注意

お子さまが成長し、インナーパッドを使用すると姿勢が窮屈になったり、無理な姿勢になったりしたら、インナーパッドを取り外してください。  
取り外したインナーパッドは、お子さまの手の届かない所で大切に保管してください。

## お子さまの乗せかた

### 01

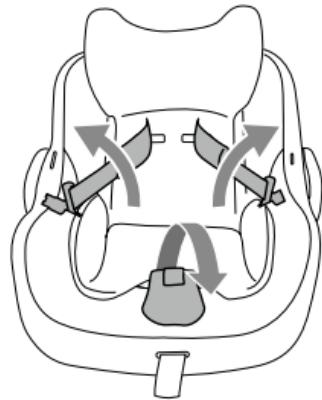
自動車の座席に取り付けられている場合を除いて、本製品を室内の平らで安定した場所に置き、キャリングハンドルを、チェアポジションに調整します。チェアポジション以外では、本製品が前後に揺れて安定しません。



※自動車に取り付けられている場合は除きます。

## 02

お子さまが座りやすいよう、あらかじめバックルを外し、肩ベルトと股ベルトを外側に出しておきます。



### 注意

シート内に玩具などの異物がないことを確認してからお子さまを乗せるようにしてください。

## 03

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。お子さまの股が、股ベルトの根元あたりにくるようにしてください。



### 注意

シート内に玩具などの異物がないことを確認してからお子さまを乗せるようにしてください。

## 04

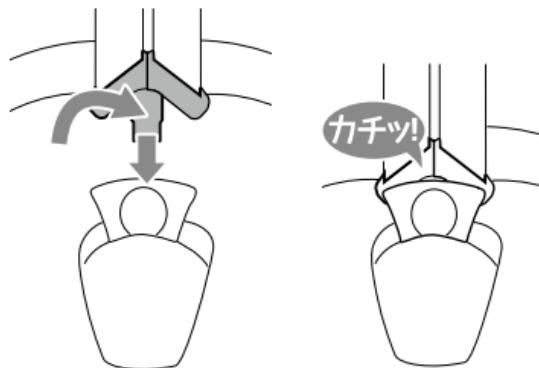
バックルを留めます。

肩ベルトの長さが短く、バックルを留めるとお子さまがきつく締め付けられる場合は、無理にバックルを留めず、お子さまを一旦おろして、肩ベルトをゆるめておきます。



お子さまに負担がかかり、ケガをするおそれがあります。肩ベルトが短い場合は、無理にバックルを留めないでください。

参照 P26 基本機能の説明>肩ベルトの調節のしかた>長さの調節



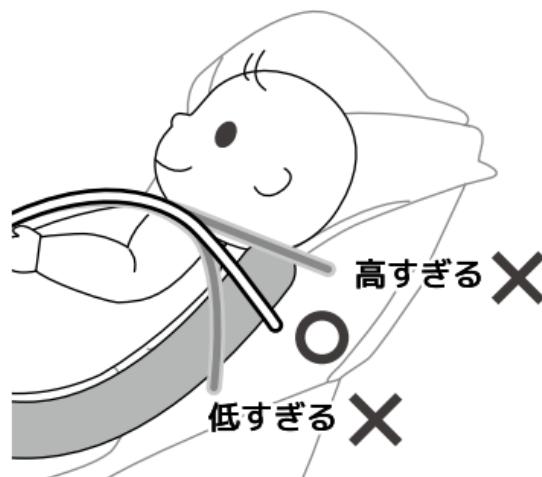
## 05

肩ベルトの高さ(位置)を確認して、調節します。

肩ベルトは、最もお子さまの肩の位置に近い高さに調節してください。

お子さまを乗せたまま調節する場合は、お子さまの頭部を手で支えて、ゆっくりと調節してください。

参照 P27 基本機能の説明>肩ベルトの調節のしかた>高さの調節



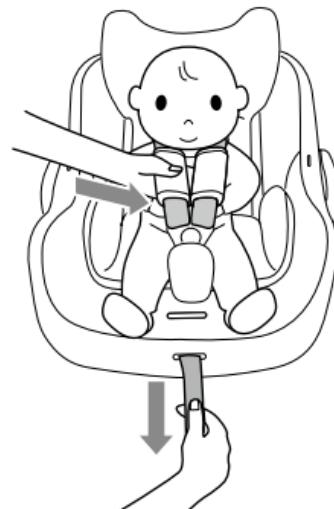
## ⚠️ 警告

肩ベルトの高さは、必ず、適切な高さに調整してください。  
肩ベルトの高さが適切でないと、特にチャイルドシートでの使用時に、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

## 06

肩ベルトとお子さまの間に、片手の掌を差し込んで、別の手でアジャスターべルトをゆっくりと引っ張り、ベルトを締めつけていきます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャスターべルトを締めつけてください。

きつく締めすぎた場合は、肩ベルトをゆるめてからもう一度締め付けなおしてください。



## 07

使用目的に合わせて、キャリングハンドルを調節してください。

## チャイルドシートとして使用する

### 自動車座席への取り付けかた

本書で指示する方法以外で、本製品を自動車の座席に取り付けてはいけません。

本製品をフロントエアバッグを装備している座席に取り付けてはいけません。本製品は助手席には取り付けできません。

本製品は、自動車の進行方向に向かって前向きの自動車座席にのみ取り付けることができます。横向き、後ろ向きなど、前向き以外の向きの自動車座席には取り付けできません。

#### △危険



本製品は、進行方向に向かって後ろ向きで自動車座席に取り付けます。横向き、前向きに取り付けることはできません。



本製品に対応したベースシートに取り付けて使用する場合は、ベースシートの取扱説明書を併せて参照してください。

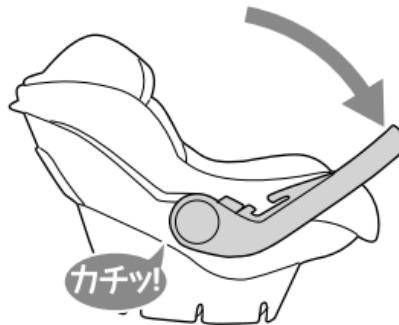
自動車の3点式シートベルトで取り付けます。

本製品本体に青色でマークされた部分にシートベルトを通して取り付けます。

#### 01

キャリングハンドルを、チャイルドシートポジションに調節します。

参照 P25 基本機能の説明 > キャリングハンドルの使いかた



#### △危険

キャリングハンドルはチャイルドシートポジションでのみ使用可能です。その他のポジションでは、本製品が正しく自動車座席に取り付けできず、大変に危険です。

## 02

本製品を取り付ける自動車の座席に、本製品を後ろ向きにして置きます。

本製品の、底面が自動車座席の座面に、前端（またはキャリングハンドル）が自動車座席の背もたれに、それぞれ接するようにしてください。



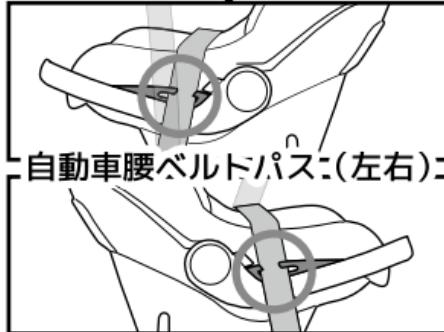
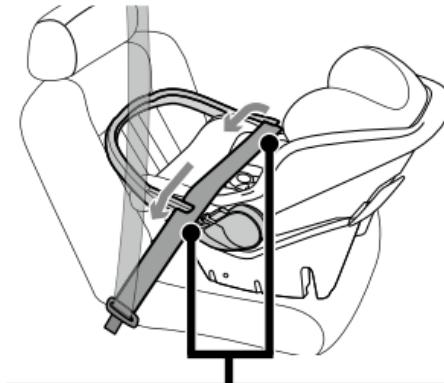
### ポイント

以下の図は、自動車座席に向かって左側にベルトバックルがある座席（右ハンドル車の助手席後ろ）への取り付けを説明しています。

シートベルトを通す必要のある部分は、本製品に青色で示されています。

## 03

自動車腰ベルトを、ねじらないように注意して、キャリングハンドル根元にある自動車腰ベルトパスに、左右とも通します。



### 危険

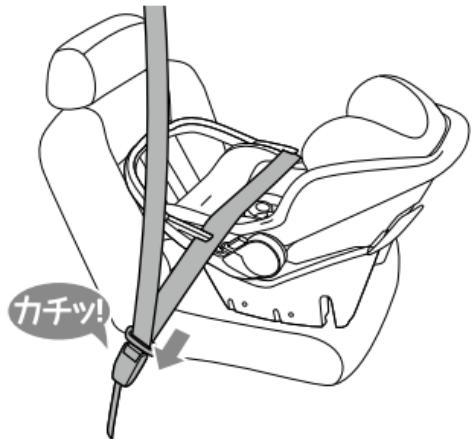
必ず、左右両方の自動車腰ベルトパスに、自動車腰ベルトを通してください。

## POINT

作業中に、シートベルトの固定機能が働いてしまうと、それ以上作業ができなくなります。作業途中で、固定機能が働いてしまった場合には、お車の取扱説明書を参照し、固定機能を解除して作業を続けてください。

## 04

自動車肩ベルト、自動車腰ベルトにねじれがないことを確認して、ベルトタングを、ベルトバックルに差し入れ、カチッと音がするよう留めます。

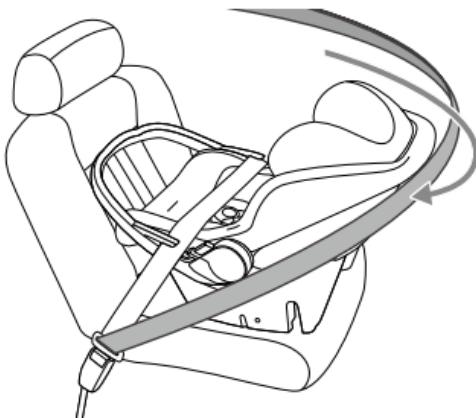


## 警告

シートベルトはねじらないようにしてください。ねじれがあると、衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

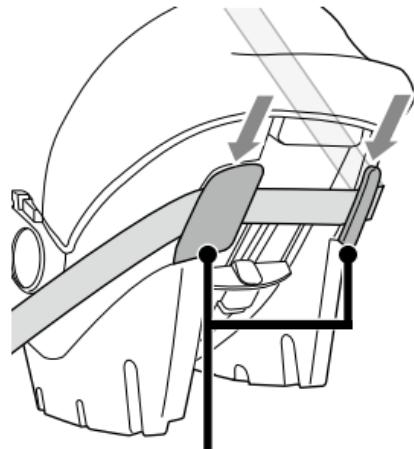
## 05

自動車肩ベルトをねじらないように注意しながら、本製品本体の背面側に回します。



## 06

背面の左右の自動車肩ベルトパスに、自動車肩ベルトを差し入れます。奥までしっかりと差し入れてください。



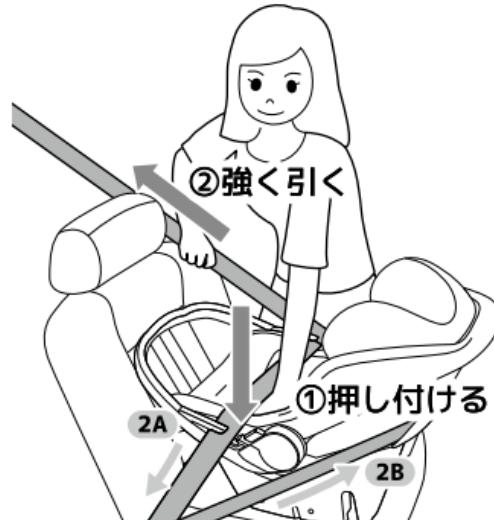
自動車肩ベルトパス



必ず、左右両方の自動車肩ベルトパスに、自動車肩ベルトを通してください。

## 07

①座面部分を押し付けながら（自動車腰ベルトを押さないでください）、②自動車肩ベルトを強く引き上げてしっかりと固定します。



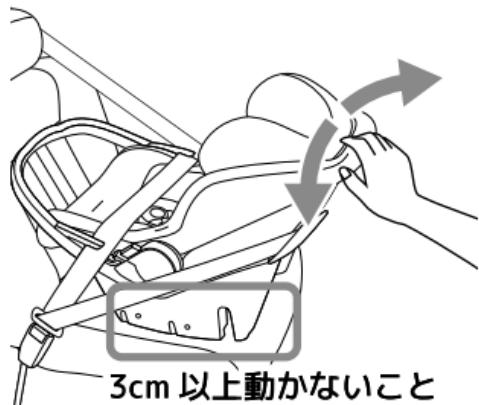
上図②で自動車肩ベルトがうまく引き上げできない場合、腰ベルトパスからベルトタングまでの間【2A】→ベルトタングから肩ベルトパスまでの間【2B】→②の順で引くと強く締め付けることができます。



座面部分を押し付ける際に、バックルなどでケガをしないように注意してください。バックルを避け、座面部分を押すようにします。

## 08

本体上部を手で前後左右に軽く動かしてみます。本製品の底面が3cm以上動く場合、取り付けが緩い状態ですので、もう一度取り付けなおしてください。

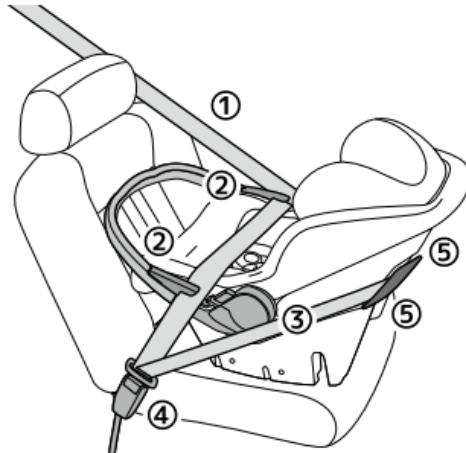


### 警告

取り付けが緩い状態のまま使用すると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が外れて自動車座席から飛び出すおそれがあります。

## 09

最後に、正しく本製品が取り付けられているか確認します。一つでも違う部分があれば、もう一度取り付けなおしてください。



①シートベルトにねじれがないこと

②左右の自動車腰ベルトパス両方に、自動車腰ベルトが正しく通っていること。

③キャリングハンドルが、チャイルドシートポジションで固定されていること。

④ベルトバックルにベルトタングがしっかりと固定されていること。

⑤左右の自動車肩ベルトパス両方に、自動車肩ベルトが正しく通っていること。

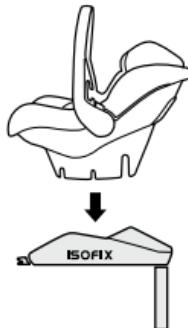


自動車の座席が可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席）の場合、確実に背もたれを固定すること。



自動車の座席に取り付けた、本製品に対応したベースシートに、本製品を取り付けて使用することもできます。

ISO-FIXに対応したベースシートに取り付けて使用する場合、これに重ねて3点式シートベルトで本製品を固定しないでください。



## ベビーキャリーとして使用する

### 01

お子さまを正しく乗せて、バックルを留めます。

参照 P29 基本機能の説明 > お子さまの乗せかた

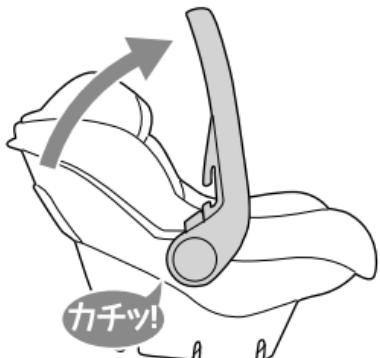


チャイルドシートだけではなく、他の使用方法の場合でも、  
お子さまの正しい乗せかたに違いはありません。  
肩ベルトを正しく調節し、バックルを留めてしっかりとお子  
さまを本製品に固定してください。

## 02

キャリングハンドルを、キャリングポジションに調節します。

参照 P25 基本機能の説明>キャリングハンドルの使いかた



### 警告

キャリングハンドルは確実に固定してください。固定されていないと、本体が前後に回転し、お子さんに強い負担が掛かるばかりでなく、お子さんが本製品から落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

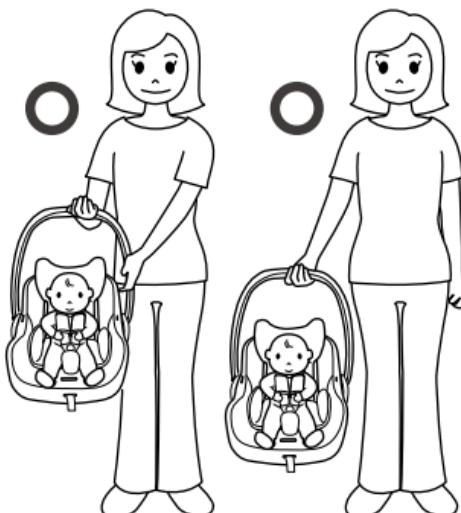
## 03

地面に水平になるように注意しながら、キャリングハンドルを片手でしっかりと握り、またはキャリングハンドルに腕を通して肘に掛け持ちます。

ゆっくりと持ち上げるようにしてください。

使用中は、地面に対して水平を保つようにしてください。

両手で持つこともできますが、この場合、本体を地面に対して水平を保つのが難しくなりますので、より注意するようにしてください。



## ⚠️警告

本製品を持ち上げる際には、キャリングハンドルを持つようにしてください。キャリングハンドルを持たずに本製品を持ち上げると、本製品が破損したり、バランスを崩しお子様や本製品が落下するおそれがあります。

お子さまが本製品から落下したり、ケガをするおそれがありますので、本製品を大きく振ったり、揺すったりしないでください。

本製品が落下したり、挟まつたりして、重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を安定しない場所や高所に置かないでください。車の屋根の上に置く、買い物カートに乗せる、テーブルや椅子の上に置く、などしてはいけません。



使用中は、本製品を地面に対して水平に保つようにしてください。

## ⚠️注意

狭い通路や、急な曲がり角、階段や段差のある場所、家具調度品のある室内では、本製品が他のものや構造物に接触しないよう慎重に取り扱ってください。

本製品を持って走らないでください。

## 04

地面に置くときは、平らで安定した場所で安全を確かめてから、優しく置いてください。

## ベビーチェア・ロッキングチェアとして使用する

### △注意

ロッキングチェアとしての使用可能期間は、お子さまが一人座りできるようになるまで（生後7ヶ月頃）です。  
本製品が転倒するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 01

お子さまを正しく乗せて、バックルを留めます。

参照 P29 基本機能の説明>お子さまの乗せかた

### △警告

チャイルドシートだけではなく、他の使用方法の場合でも、  
お子さまの正しい乗せかたに違いはありません。  
肩ベルトを正しく調節し、バックルを留め、シッカリとお子  
さまを本製品に固定してください。

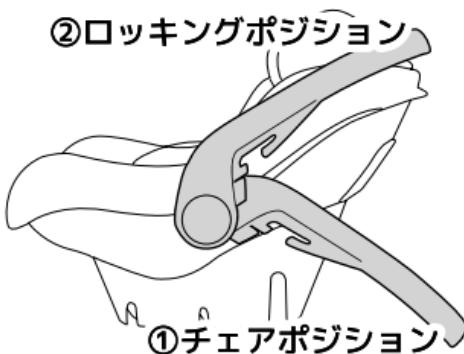
### 02

キャリングハンドルを調節します。

- ①ベビーチェアとして使用する場合は、チエアポジション
- ②ロッキングチェアとして使用する場合は、ロッキングポジション  
にそれぞれ調節してください。

参照 P25 基本機能の説明>キャリングハンドルの使いかた

### ②ロッキングポジション



### ①チエアポジション

### ？ポイント

ロッキングポジションでは、本体を前後に揺らすことがで  
きます。

チエアポジションでは、キャリングハンドルが前後の揺れを  
止め、安定しますので椅子として使用することができます。

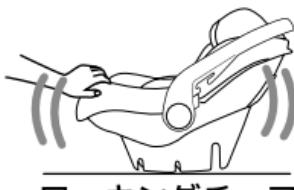
### 03

ベビーチェアとして使用する場合は、そのまま椅子として使用してく  
ださい。

ロッキングチェアとして使用する場合は、ゆっくりと優しく前後に揺  
らしてください。



ベビーチェア



ロッキングチェア

本製品使用中は、お子さまを放置してはいけません。必ず大人の方が付き添うようにしてください。

ロッキングチェアで使用中、強く揺らさないでください。お子さまがぐずった場合、強く揺らしても効果が全くないばかりか、重大な事故につながるおそれがあります。

## ⚠ 警告

本製品が落下したり、挟まつたりして、重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を安定しない場所や高所に置かないでください。車の屋根の上に置く、買い物カートに乗せる、テーブルや椅子の上に置く、などしてはいけません。

重大な事故につながるおそれがありますので、暖房器具、コンセント、ドア、窓、階段の近く、落下すると危険な物品の近くに本製品を置いて使用しないでください。

また、お子さまに直接暖房、冷房、扇風機などの風が直接あたる場所でも使用しないでください。

## ⚠ 注意

お子さまに負担がかかりますので、長時間にわたる連続使用は避けてください。特に、ロッキングを長時間続けると、乗り物酔いと同様、お子さまの気分が悪くなるおそれがあります。

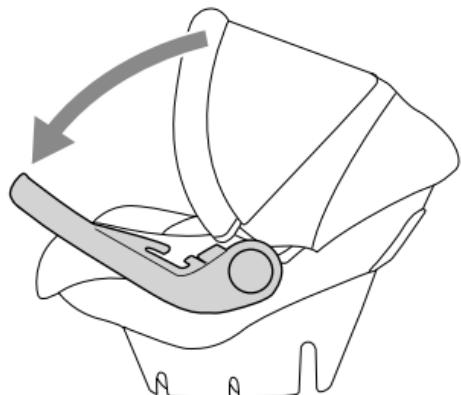
また、おう吐のおそれがありますので、授乳直後、食事直後の使用は避けてください。

# お手入れのしかた

## キャノピーの取り付け、取り外し

### 01

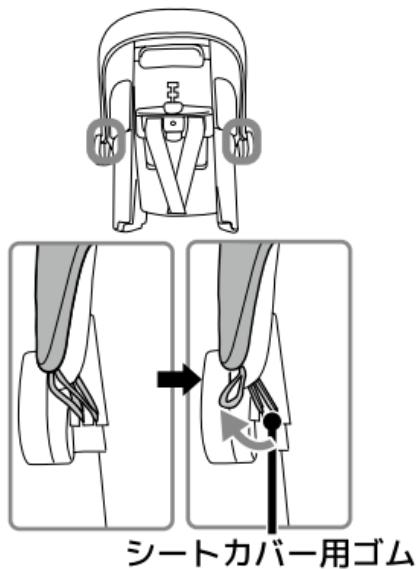
キャリングハンドルを、チャイルドシートポジションに調節します。他のポジションでも取り外し、取り付けはできますが、チャイルドシートポジションに調節すると、作業がしやすくなります。



## 02

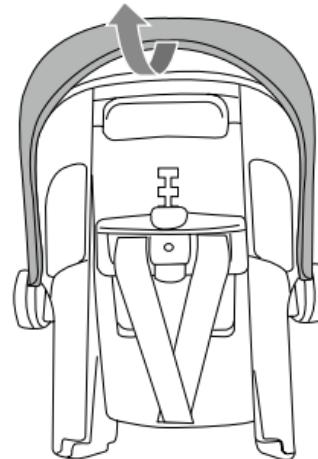
キャリングハンドルの根元でキャノピーを留めているゴムバンドを取り外します。左右とも取り外してください。

同じ場所に、シートのカバー用のゴムバンドも留められていますので、間違わないように注意してください。



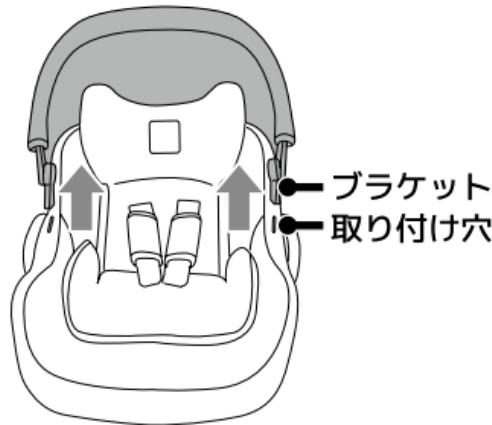
## 03

シート背面の上部からキャノピーの生地を外します。



## 04

キャノピーのブラケットが、本体左右の取り付け穴に差し込まれています。キャノピーを上方向に引き抜いてゆっくりと取り外します。引っかかった感じがする場合は、そのまま無理に引き抜こうとせず、ゴムバンドや、キャノピーの生地が引っかかっていないか確認してください。



## 05

取り付けは逆の手順で行います。

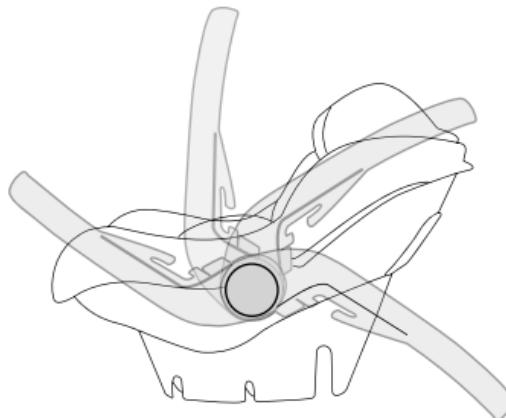
## シートのカバーの取り外し



**警告** カバー類、肩ベルトパッドを取り外した状態で本製品を使用してはいけません。

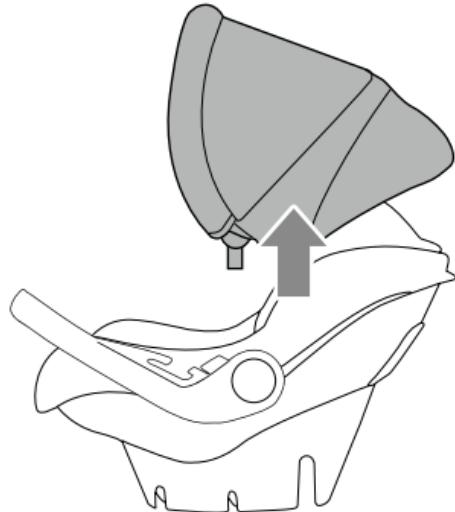
## 01

キャリングハンドルは、作業がしやすいように、都度調節してください。



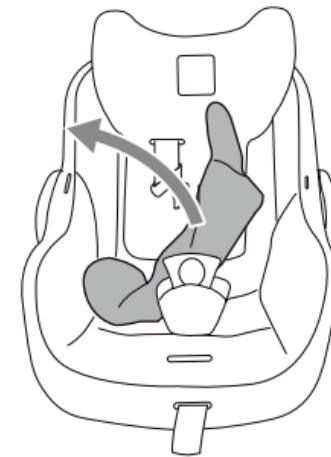
**02**

キャノピーを取り外します。



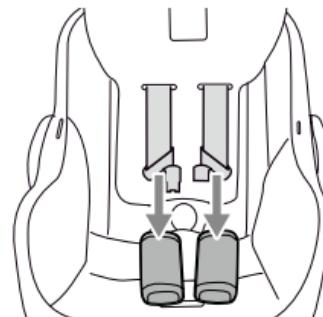
**03**

バックルを取り外し、インナーパッドを取り外します。



**04**

肩ベルトから肩ベルト/パッドを抜き取ります。

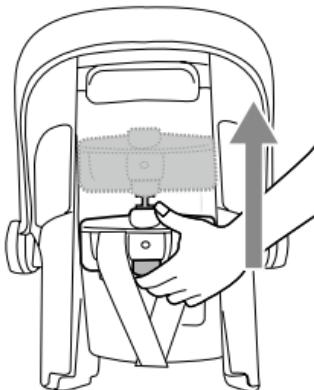




**注意** 取り外したインナーパッドと肩ベルト/パッドは、お子さまの手の届かない場所に保管しておいてください。

## 05

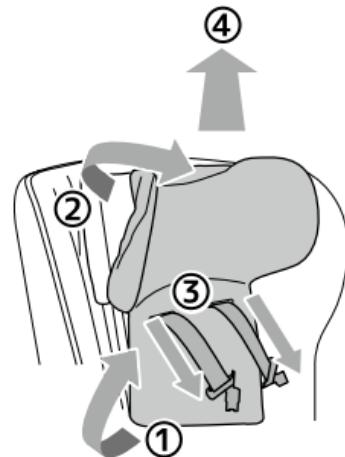
ヘッドレストを最も高い位置に調節します。



## 06

内部の緩衝材を傷つけないように注意して、ヘッドレストのカバーを取り外します。カバーは、ヘッドレスト上下でかぶせられています。

- ①ヘッドレストのカバーを下側から外し、
- ②上側を外します。
- ③肩ベルトをカバーの取り出し穴から抜き、
- ④カバーを上に抜き取ります。



**警告** ヘッドレストの緩衝材は取り外さないでください。本製品が安全に機能しなくなります。

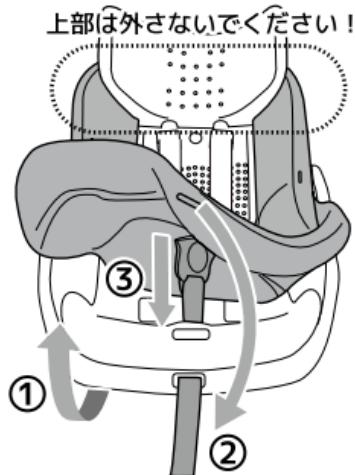
## 07

シートのカバーの下部を取り外します。

- ①カバーの下部をめくるようにして外し、
- ②アジャスターべルトをカバーの穴から抜き出し、
- ③股ベルトを、股ベルトカバーから抜いて、カバーの穴から抜きます。



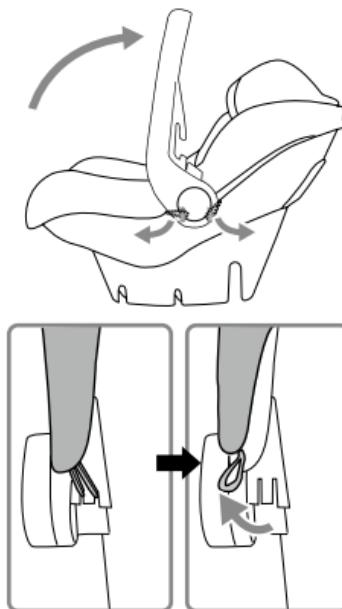
ここでは、下部のみ取り外します。この状態では、上部は取り外しできません。



## 08

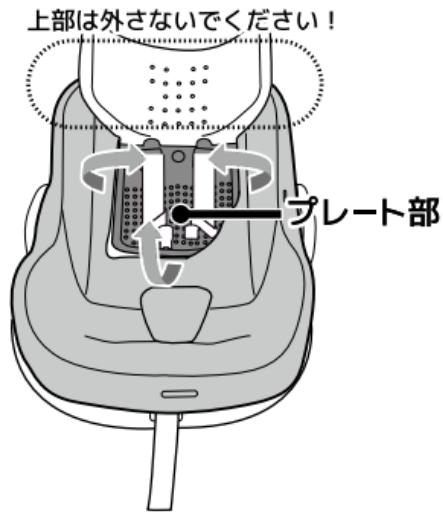
キャリングハンドルの根元の前後（合計4ヶ所）のカバーのゴムバンドを取り外します。左右とも取り外してください。

キャリングハンドルをキャリングポジションに調節すると作業がしやすくなります。



## 09

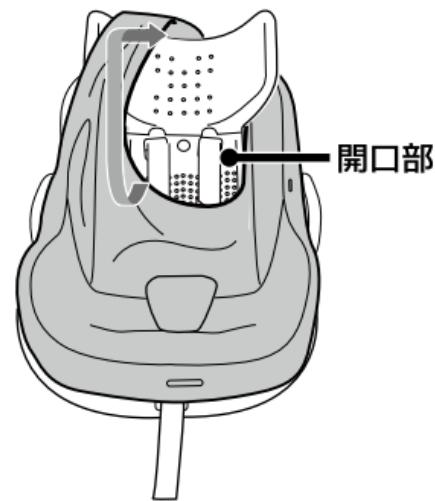
ヘッドレストが最も高い位置に調節されていることを確認します。  
プレート部から、シートのカバーをめくるようにして外します。  
まだ、シートのカバー、上部は外さないでください。



**注意** ヘッドレストが最も高い位置に調節されていないと、シートのカバーを取り外すことができません。

## 10

ヘッドレストの緩衝材を傷つけないように注意しながら、下側から回すようにして、シートのカバーの開口部をヘッドレストに通して慎重に取り外し、シートのカバーを抜き取ります。



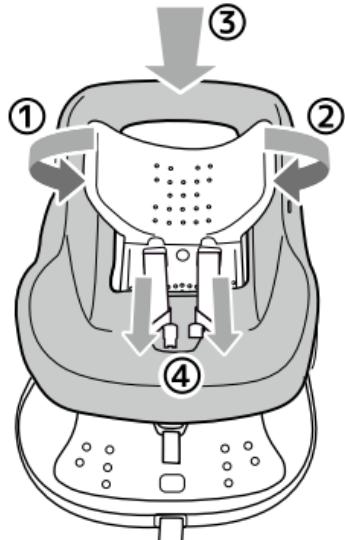
## シートのカバーの取り付け

### 01

取り外しと同様、取り付けの場合にもヘッドレストを最も高い位置に調節します。

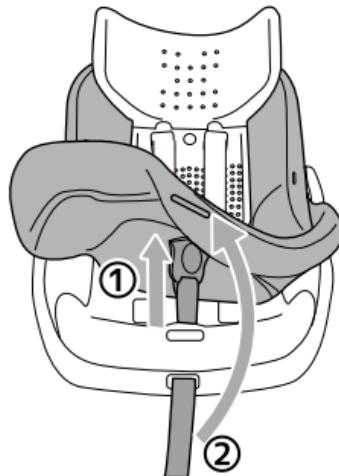
### 02

- ①②シートのカバーの背もたれ部分の開口部をヘッドレストの左右に通し、
- ③シートのカバーを上からかぶせて
- ④肩ベルトを開口部から出しておきます。



### 03

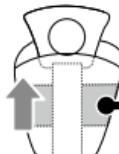
- ①股ベルトをカバーの穴に差し入れ、股ベルトカバーに通します。
- ②アジャスターべルトをカバーの穴から差し入れます。



アジャスターべルトを通す穴は、シートのカバーの先端にあります。近くにあるアジャストレバー用の窓と間違わないように注意してください。

#### ⚠ 注意

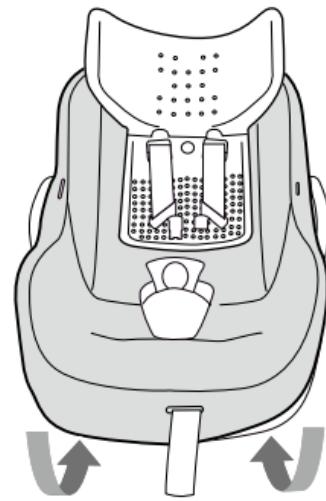
股ベルトは、股ベルトカバー裏側（お子さまの股側）の帯状の部分に通してください。



● 带状の部分

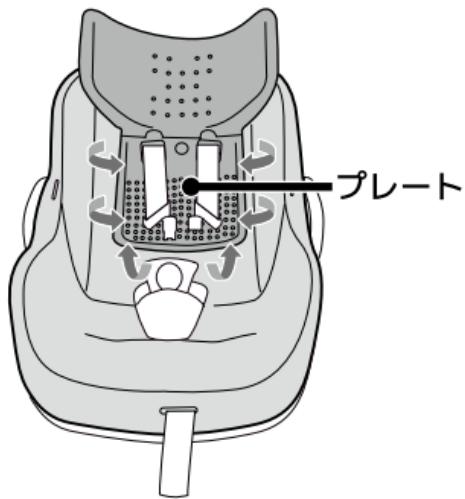
## 04

シートのカバーの先端を、本体にかぶせます。



## 05

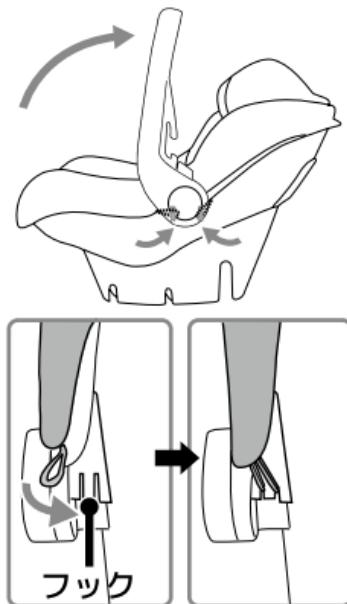
シート開口部を、ヘッドレストの背もたれ部のプレートの縁に沿ってたくしこんで、プレートを表側に出します。



## 06

キャリングハンドルの根元の前後（合計4ヶ所）のフックに、シートのカバーのゴムバンドを取り付けます。左右とも取り付けてください。

キャリングハンドルをキャリングポジションに調節すると作業がしやすくなります。



## 07

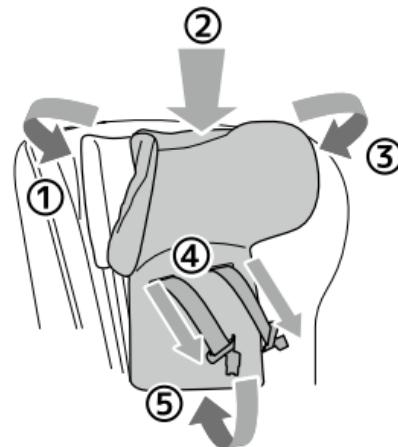
緩衝材を傷つけないように注意して、

ヘッドラストのカバーを、①左→②上→③右の順に（または③→②

→①）ヘッドラストの上からかぶせ、

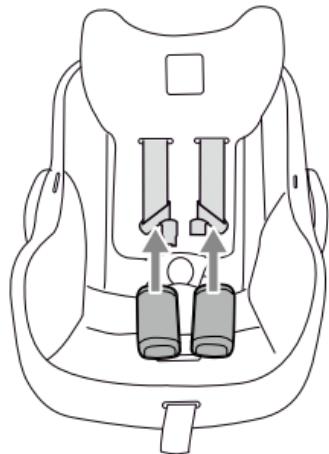
④肩ベルトをカバーの取り出し穴から出して、

⑤カバーの下側をかぶせます。



## 08

肩ベルト、股ベルトにねじりがない事を確認し、肩ベルトカバーを肩ベルトに差し込みます。



肩ベルト/パッドを取り付けずに使用してはいけません。必ず、  
肩ベルト/パッドを取り付けてください。

## 09

キャノピーとインナーパッドを取り付けます。

参照 P42 お手入れのしかた > キャノピーの取り付け、取り外し

参照 P28 基本機能の説明 > インナーパッドの使いかた



お子さまが成長し、窮屈になるまでは、インナーパッドを必ず取り付けて使用してください。

## 縫製品のお手入れのしかた



**注意** 指定以外の方法でお手入れすると、破れ、ほつれ、縮み、変退色するおそれがあります。

### シートのカバー



30度以下の水温、弱水流で洗濯機で洗うことができます。

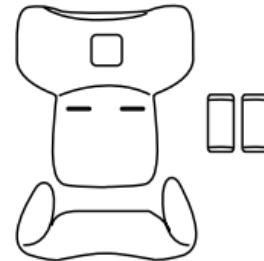
軽く絞って、形を整え、陰干してください。  
シートのカバーに縫い付けられているラベルの指示に従って正しくお手入れしてください。

- 塩素系漂白剤は使用できません。
- アイロンをあてないでください。
- ドライクリーニングはできません。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤は使用できません。
- タンブラー乾燥はしないでください。
- きつく絞らないでください。

### キャノピー

水につけて洗うことはできません。ブラシで汚れを払うか、水を付け、よく絞った柔らかい布でふき取るようにして汚れを落としてください。

### ヘッドレストのカバー インナーパッド 肩ベルトパッド



30度以下の水温で手洗いが可能です。  
軽く絞って、形を整え、陰干してください。

- 洗濯機は使用できません。
- 水、お湯を直接かけたり、つけないでください。
- 塩素系漂白剤は使用できません。
- アイロンをあてないでください。
- ドライクリーニングはできません。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤は使用できません。
- タンブラー乾燥はしないでください。
- きつく絞らないでください。

## 本体、ベルト類のお手入れのしかた



お手入れは大人の方が行ってください。お子様にお手入れをさせないでください。

### 本体

#### 肩ベルト／股ベルト

ブラシで汚れを払うか、水を付け、よく絞った柔らかい布でふき取るようにして汚れを落としてください。

- 絶対に注油しないでください。
- 衝撃吸収材(スチレンフォーム)はお手入れできません。
- 水、お湯を直接かけないでください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤は使用できません。

### 受けパックル／差込タング

ブラシで汚れを払うか、水を付け、よく絞った柔らかい布でふき取るようにして汚れを落としてください。

受けパックルの中に入ったゴミは、掃除機で吸い出され、市販のエアダスターを使って吹き飛ばすようにしてください。

- 絶対に注油しないでください。
- 水、お湯を直接かけないでください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤は使用できません。



正しく差込タングを受けパックルに差してもカチッ!と音がない、パックルリリースボタンが動かないなど、パックルに異常を発見した場合はただちに本製品の使用を中止してください。

受けパックルの内部にゴミなどが入らないよう、お子さまを乗せていないときも、パックルを留めておくようにしてください。

## 保管のしかた

直射日光の当たらない、寒暖差が激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる露天では保管しないでください。

長期間ご使用にならない場合は、本製品を自動車から取り出しておいてください。

ほこりがパックル内に入らないよう、保管時もパックルは留めておいてください。

## 廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。







輸入販売元 株式会社カトージ

〒 484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋 39-2

お客様サービス ☎ 0568-67-5701 平日 10 ~ 17 時（土日祝日を除く）

[katoji.co.jp](http://katoji.co.jp)